

CONTENTS

鹿島の価値創造	48	海外
02 社長メッセージ	50	エンジニアリング
08 価値創造のあゆみ	51	国内関係会社
10 鹿島の事業		
12 ビジネスモデル		強みと成長を支える基盤
14 鹿島の価値創造の源泉	54	人材
16 強みを掛け合わせた事例	56	パートナーシップ
18 マテリアリティ	57	安全を実現する仕組み
	58	環境
鹿島の成長戦略	62	コーポレート・ガバナンス
22 特集：生産性向上への取り組み	70	リスクマネジメント
26 中期経営計画(2018～2020)の 推進状況	76	コンプライアンス
28 財務本部長メッセージ	78	取締役・監査役一覧
32 財務・非財務ハイライト	80	ステークホルダーとの対話
36 10か年ハイライト	81	社会貢献活動
38 社長・社外取締役対談	82	主要グループ会社 国内
42 土木	83	主要グループ会社 海外
44 建築	84	執行役員一覧
46 開発	85	会社情報
	86	株主情報

編集方針

鹿島グループは、2015年度から財務情報とESGを含む非財務情報を「鹿島コーポレートレポート」として発行してまいりました。2019年度からは、社会とともに持続的に成長するために、事業を通じて優先的に取り組むべき重要課題（マテリアリティ）の開示をはじめ、更なる内容の充実を図ったことを契機として、「鹿島 統合報告書」に改称し発行しています。

本報告書を通じて、「鹿島グループ中期経営計画（2018～2020）」に基づく企業価値向上に向けた取り組みの状況や、持続可能な社会の実現に向けた価値創造についてご理解いただ

ければ幸いです。

今後も、投資家様をはじめステークホルダーの皆様からのご意見を参考に改善を図り、建設的な対話に資するコミュニケーションツールとしての有用性を高めるべく努力していきます。

なお、編集にあたっては「国際統合報告フレームワーク」、GRI「サステナビリティ レポートガイドライン第4版」、経済産業省「価値協創ガイドンス」「環境報告書ガイドライン」などを参照しました。



報告対象

■期間

2019年度（2019年4月1日～2020年3月31日）
※当該年度以外の活動内容も一部掲載しています。

■組織

鹿島グループ
※安全衛生や環境に関する定量的データは、鹿島建設株式会社単体の国内のみを対象に集計しています。

〈発行時期〉

2020年9月（前回：2019年8月／次回：2021年9月予定）

〈ウェブサイトにおける情報提供〉

鹿島ホームページ <https://www.kajima.co.jp/>
株主・投資家情報 (IR) <https://www.kajima.co.jp/ir/>
CSRの取組み <https://www.kajima.co.jp/csr/>

〈将来の見通しに関する注意事項〉

本報告書に記載されている将来の見通しは、現在入手可能な種々の情報に基づくものであり、将来の計数数値、施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。